

品川支部

令和2年12月1日発行
 〒141-0022
 品川区東五反田1-8-5
 TEL 3442-7075
 天理教品川支部（豊英分教会内） 発行責任者 栗原薫 編集 支部編集部

12月

庚子(かのえね)の年 最後の月になりました

庚子(かのえね)の年は、全ての物が一度クリアされ、又新たに始まるという六十年に一度の年という事でした
 今の時代、そういった年でも何も起こるものかと思って年初を迎えましたが、なんと世界中がこの新型コロナウイルスの災禍の中、生活様式が一変されることになりました。
 ただ偶然だと考えるか、神様の思し召しに何らかの意味を見出すか新たな世界に向かい大きな違いが出るように思います。
 本当に大変な時期を過ごされていても、自らを一しきり嘆いた後は、苦しい中来年に向け、陽気ぐらしに向け、人助けに気持ちを向けて参りましょう。



☆支部行事のお知らせ

- ・支部幹事会
十二月九日(水)午後六時〜
櫻京分教会にて
- ・教区ひのきしん
各支部一名で三輪先生にお願いいたします
- ・神名流し
中止
- ・在宅センターひのきしん
中止

・支部例会
十二月二十一日は豊英分教会での例会になりました。
例年、日本橋大教会を使わせて頂いておりますが、先般の事情から会場を変更いたします
詳しくは二頁掲載ですが状況により変化致しますのでお確かめの上参加願います

☆教務支庁からのお知らせ

- ・布教部から
よふぼくが教えに親しむ
ウエブページ多数
- ・ユーチューブを始め、ラジオ、その他動画を探してみてください。それぞれの立場に合うコンテンツがきっと見つかります

青年会から

・九月から十一月にかけて三ヶ月間多数の方の献血を頂きまして有り難うございました
 ・皆さんに親しまれてきました「大望」が令和三年三月号を持って終了となります。

少年会から

来年少予定されていましたが鼓笛コンクールは中止が決定されました
 尚それに代わりウェブ上でお供え演奏をアップしていく企画等が検討されているとのことです。

品川支部から

品川支部では、支部内にお住まいの教友の方に楽しく参加頂けるように、企画して参ります。
 まずは支部内に嫁いでこられた方、子育て真っ最中の方が気軽に東京近辺の紹介を兼ねて会食できるような企画をしたいと思っております。
 コロナ禍で、万全の予防に目処がつかまりましたらご案内させて頂きますので楽しみにしておいて下さい。

拠点教会	6日号 11月29日と合併号	13日号	22日号
日本橋	郵送	郵送	郵送
本 荏	郵送	郵送	郵送
南 泰	郵送	郵送	郵送
三ツ木	郵送	郵送	郵送
水豊田	郵送	郵送	郵送

時報手配り十二月予定
 品川支部は今年いっぱい手配り見合わせる予定ですが、六日号は支部報と配れる方はお願い致します

品川支部例会

令和2年12月21日 (月) 11時開始

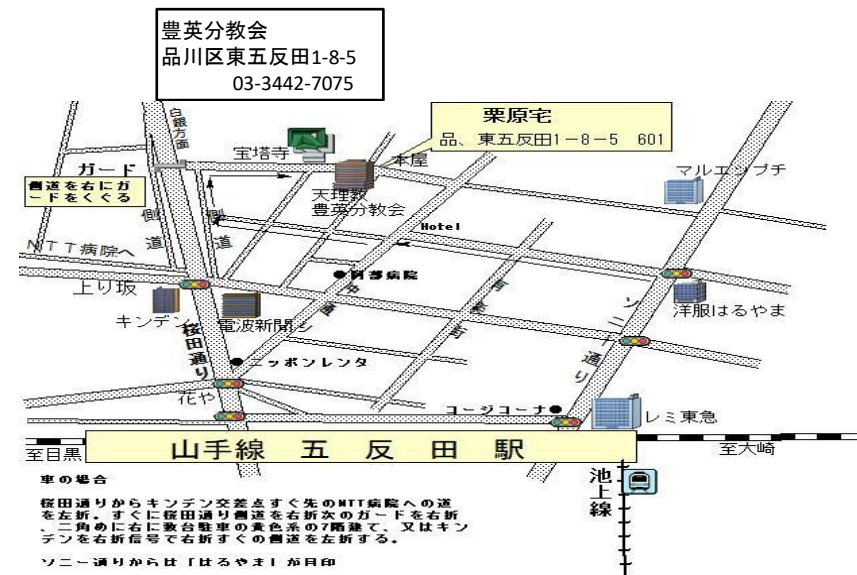
場所 豊英分教会

座りづとめ よろづよ八首 十二下目 東京教区、支部連絡事項 当該栗原教会長挨拶

納めの例会昼食の用意頂いてます

*各教会の方のほかどなたでも (白足袋ハッピー着用)

尚、コロナ状況で変更も有ります



神殿密訪に際し

都南分教会長



先日、神様を仮神殿(現一
館三階、何時も支部幹事会を
している上階)に遷座をさせて頂
きました。これより、二年間こ
に仮住まいとなり、その間に、解
体、基礎工事、建築と進んでい
く予定です。現在の三階建一
館のみを残し、後、全ての建物
を取り壊し、その後、二階屋
の神殿棟を一棟のみを建てる予
定にしています。(今使っている部
屋数よりもずっと少なくなりま
す)、最後にこの一館も取り壊
し、駐車場にする事となっております。

この工事の期間中、何かと支部
の皆様にもご迷惑をお掛けする
事になると思いますがお許し願
います。又、出来上がったら使っ
て下さい。

さて、このふしんの建築お運
びのお許しを戴いた後、教区長
さん、支部長さんの視察を頂
戴致しました。その時の教区
長のお話に「教会のふしんの原
点は、教祖ご在世当時のつとめ
場所のふしんにあります。それ
は、全てご恩報じから始まった
ものであります。都南もしっか
り親々へご恩報じにつとめきつ
てもらえば、ふしんは必ずに完
成します」と頼もしいお言葉を
下さいました。そして、引き
続き「今、お道は大事な岐路に
立たされています。それは、か
るるだいの節、真柱様の身上、
自然災害、コロナ等。この節々
は神様から我々への紛れもない
世界に対して、互いたすけあい
からのズレを修正するようにと
への神様からのメッセージのよう
に思う、これまでの歩みを再確
認し、初代がしてくれたいよう
な、世界たすけへ向かっての再
出発をしなければならぬ時
と感ずる。教祖が御身をお隠
しになった時と重なる…」

そして、「都南が先人から
受け継いだものを一旦全部
取りこぼち、新たな力を
合わせ次の時代に一步を踏
み出すこの機会を皮切りに、
心のふしんの上にも先陣を
切ってもらいたい。」とお聞
かせ下さいました。

そんな、大それた事はとて
も出来ないが、その後、十
月に表統領からの発表も
あり、教祖百四十年祭のみ
ならず、教祖百五十年祭、
立教二百年を目指し、十
六年後の自分の教会が如何
にあるのかを目標に今から
具体的なおたすけに励ん
でもらいたいとお言葉を
頂きました。

これから、十六年後を目指
し、決して大それた事はで
きなくても、着実な歩みで
ある、おたすけ、丹精、人
材育成、にいがけ(地域へ
の働きかけ)を真面目に目
指し、今、自分の出来る事
を一步一歩歩んでいくこと
が、出来ないような気が致しま
す。

我が教会のふしんを通し
て、にぎやかな元気のある
教会、魅力のある教会を目
指していきたいと感じ、頑
張っていきたく存じます。
品川支部教友の皆様、こ
れからもどうぞよろしくお
願い致します。

西海道生

天理教都南分教会新築工事計画案

